

2019年11月 (No.365)

主な内容とページ

半導体需給の鍵は、メモリブームの修正と米中貿易戦争.....	1
高水準の中国半導体輸入.....	4
ファーウェイは紛争悪化に備えて在庫積み増し.....	4
想定されるシナリオ.....	5
第3四半期世界主要35社中、赤字は6社うち日系4社.....	5
米半導体企業第3四半期結果、ここまでOK.....	10
半導体需要は悪化?.....	10
ムダと遊び(SRL だより).....	14

半導体需給の鍵は、メモリブームの修正と米中貿易戦争

半導体市場はメモリブームの修正に貿易紛争の混乱が加わり、見通しがより困難になってきた。

1. 足元では下落してきたメモリが底打ち傾向をみせ、今後はV字回復の可能性もある。一方で最大市場の中国で貿易紛争の影響回避から発注前倒し、在庫積み増しによる影響が懸念される。
2. 米中の貿易協議次第の面が濃く、先端の次世代携帯(5G)などがどの程度の速さで普及、市場が拡大するか、年末から来春が一つのヤマ場となりそう。
3. 貿易協議が不調に終わり紛争激化すれば、半導体需要は一段と落ち込みが避けられない。その反対に次世代端末や基地局が好調に推移、V字回復もあり得る。事態の進展次第だ。

ムダと遊び

『伝統的には、日本企業は先行者利益を享受するというよりは、2 番手として新しい技術を精緻化することで強みを発揮してきた』日経新聞の経済教室でみられた著名な学者の言だが、印象に残っている。この通りだと思ふ。

『トヨタ自動車のようなトップ企業は「乾いた雑巾を絞る」経営でいいが、それを追いかける立場のホンダが、ぬれ雑巾を絞って、カラカラにしてしまったら、新しい技術や企画が枯渇する、というのが本田さんの持論だった。』(日経 10 月 29 日私の履歴書で IIIJ の鈴木幸一会長)

「刀」から「鉄砲」、「馬車」から「鉄道」「自動車」、「船」から「航空機」への発明、変化は西洋社会で行われ、新たな時代を築いた。わが国は...。ゲーム、カラオケ、パチンコ、アニメ、秋葉原のオタクやアイドルが世界で知られている。繊細、思いやり、山紫水明の自然、そしてムダや遊びとつながる面も少なくないと思っている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL(半導体総合研究所)ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL(半導体総合研究所)の解釈と分析で表現したものです。

2019 年 著作権所有 SRL(半導体総合研究所)

SRL Monthly Report

2019 年 11 月(毎月 1 回発行)第 30 巻 11 号(通巻 365 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

November 2019, No.365

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014

Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2019

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)